

各グループ発表内容

【Aグループ】

なかなかまとまらなかったのも、それぞれ出た意見を羅列してみます。よくお聞きください。

いちばん初めに保険の話がでました。全体としては加入希望が多かったのですが、個人的に保険に入っていてケガしたら保障されるから、そんなん入る必要があるのかな、という話もありましたし、まあ、全員参加でなかったら意味がないということもある。また個人情報はどう取り扱うのか、というところもございましたので、もうちょっと中味をお聞きして、詰めていただきたい、というのがAグループの結論です。個人情報については、個人毎に封筒に入れて必要なければ封印したままお返しする、という方法もとれるということなので、その点も踏まえて進めていただければ、ということです。

次に連盟に望むことですが、団の悩みがあったり、いろいろございましたので、網羅的に話します。合唱講習会に関しては、非常にいいので、続けてやってほしいといことです。では年に2回しましょうか、といったら、いやそれは結構です、とのことでした。

それからソフィア堺、会場の問題ですが例年暑いとかいう問題がでたのですが、梅で2回できないの？という意見もありました。これはリハーサル室の問題があるとか、いろいろなお話も伺いました。ただ、時期的なところでは、コーラス交歓会2月という必然性のお話も聞いて、合唱祭と半年空けて違う曲ができるように、などの配慮もいただいているのですが、なにせ2月はインフルエンザや風邪の時期でもありますので、もう少しタイミングをずらしていただければ助かるのでご検討ください、との話もありました。

各団の悩み、ということですが、人の問題、人材確保ができないということは必然的に高齢化していく、という形でございます。団の1割がたの人数は新しい人を入れないと、確実に高齢化していく、という現実を皆様も認識していただいているのではないかと思いますけれども、今年7人も入団した、という団もございました。指導者の方が、一には非常に熱心で、呼んでくるのは皆さんの責任ですけれども、来てもらって続けていただけるかどうか、というのは、指揮者の責任だ、という強い言葉をいただいて、7人が来ていただいた、とか、また当たり前の話ではありますが、練習場では歌える人を真ん中にはさんで、まだ歌えていない方を両脇に、というような細かい配慮をされている、ということが、団員の覚悟とともに継続につながっているのではないかと、いうふうに考えております。

えー、私の団はですね、6人来て、5人やめてしまいました。そんなところを参考にしていきたいな、と思っております、はい。あと、発表会、機会ですね、これも団がみんなでかたまっ練習を続けていくなかで達成感を得られる重要なことだろうと思われま。いろんな機会をもってやってほしい、と思ひます。その中で、以前あったのですが、コーラス交歓会の「ファッション・ショー」についても、ぜひもう一度やってほしい、というご意見もありました。歌を歌う、ということも大事ですが、いろんなイベントをして、いろんな人をひっばてくれる、という一つの機会にもなると思ひます。

団の悩み、ということですが、いざ入ってもらってもソプラノの希望者ばかりだ、というところもありました。

それから、これは連盟に対してですが、ホームページ、費用をかけてでももっと充実させたはどうか。団の練習場所が地図でわかるもの、近くにどんな団があつてどんな指導者がいて、とうのが、クリックすればすぐわかる、とうものがあればいいな、というのが要望としてあります。なぜそういうことをいつているかという、おそらく、団を選ぶときに、若い人が、まずスマホで調べる、ということがあります。そこの部分が充実していないと、新しい人がなかなか入ってこない、きにくい、ということではないかな、と思ひます。

最後にジョイントに対する要望でございます。このままでは出る団が固定されてしまうのではないかと、大きい団から今、順番に来ているところがありますので、中小の団の方にも出ていただけるような、いろんなことを考えていただければどうか。そうすると、大合同を3つ4つやろうか、いや練習場がない、とか、練習場を3箇所くらい用意して指揮者に3箇所回ってもらうのは、とか、それは指揮者に負担がかかるとか、いろいろなアイデアや意見は出ました。

以上バラバラではございますが、Aグループの発表とさせていただきます。

【Bグループ】

Bグループは催事保険から話をしました。催事保険についてはイエスもノーもいろんな意見がありましたが、主催者側としてはつけたいでしょうねえ、というところと、参加者側としてはあったらあったでいいし、なかったらいい、と。なにか起こったとき不測の事態に備える、というのは主催者側が決めてくれたら、参加するほうはそれに従うのみ、であるというのが最終的な意見です。ただ、何か事が起こったときは、あったほうがよい。別の催事で実際に使われた経験のある方もこのグループにはいまして、本当に事故が起こったときは助かったよ、というお話があったことも、ご報告させていただきます。個人情報については作業が煩雑になるのではないかと意見もありましたが、各団が出すときに名簿を作っておいて、今日の出席者は○をつけておく、というやり方をすれば楽になるのでは、との細かいところの意見もいただきました。また、催事保険というのは、演奏会は催事であるけれども、本日のような集まりは催事じゃないのか、とか、総会はどうか、とか、ここに来る途中で倒れたらどうするの、とか、行き・帰りですね、その保険の中味がわからないことには、今、保険に入る入らないの議論でしたけれども、保険の保証内容がどうなっているのか、その部分の開示があって、議論があってもいいのではと思います。すなわち、家からでるところ、会場から帰りつくまでの保証なのか、会場内だけの保証なのか。それによって保証内容・掛け金も異なってくるのではないかと、いろいろな意見があり、みなさん興味は高くお持ちであるという印象を受けました。

ジョイントコンサートについてですが、実際にジョイントコンサートに参加されている方の4枚のチケットについて、配布状況を聞くと、わりと軽くお配りできたよ、という回答でした。一方、参加されていない方のチケットの配布状況を聞くと、いろいろな意見が出てきました。連盟に参加していて、ノルマが回ってきているけれども、連盟に参加している人は歌いたくて参加しているよね、と。聴きたいという人もいるかもしれないけれども、歌いにきて、夏と冬に歌えるのを目的にしているのではないかと、という意見が出たり、また、聴くのも当然勉強になるので聴くのも良い、という意見とかもでました。ただ、11月という時期は、皆さんそれぞれお忙しい時期で、11月6日がジョイントで、20日が定演という団の方もおられて、スケジュール的に大変という話もありました。まあ、是か非かというそういう話は全くなくて、行ける行けないの個々人の事情とか、人数配当に関しての話が中心でした。

3つめに連盟への要望ですが、最初に出てきたのは、夏のソフィアはあそこまで歩くのはつらい、ということでした。だからみんな車で来てソフィアの駐車場がパンクしている、という話が出てきます。その話の流れでですか、市民会館の話題になり、市民会館が新しくなったら使いたいなあ、とか、ただ収容人数2000人とか聞いてるけど、そんな広いところではよう歌わんわあ、とか、広すぎへんか、音響はどうなんや、とか、木造やったらどうやとか鉄筋やったらどうや、など空想の話になってしまっていて、それはそれでおもしろかったのですが、まあ、とりあえず夏はつらい、と。で、梅と逆であれば、夏は楽なのでは、とか、まあ先ほど夏も冬も梅では、という話もありましたが、やっ

ぱり、駅近がいいのか、とか、また市民会館は駅からはけっこう遠いんですが、ビルの合間やからとりあえず陰はあるぞ、とか、そういう話も含めてソフィアの炎天下はキツイ、という話については、全員がウン、という結果になりました。ほかの話については意見が分かれていましたが、ソフィアの件については全員が意見が一致していましたので、また一考していただければ、と思います。

Bグループの意見は以上です。

【Cグループ】

Cグループのまとめをさせていただきます。私は合唱2年目、この代表者部会に出るのは初めて、ということで私が発表していいのかわかりませんが、いっしょうけんめいまとめてみます。

まず、7団体で自己紹介をしまして、最初に催事保険の話をいたしました。これに関しては大体、前の2つのグループと同じような意見でしたが、基本的には、7名の意見としては、入ってほしいなあ、と。そういう意見が強かったように思います。ただ、そのときに、催事の場所に着くまでの途中のことはどうなるか、とか、いう話がでました。

次にジョイントコンサートのことですが、いろんな意味で続けて行ってほしい、ということです。男声合唱が少ない、ということで、その辺の事情も私はよくわかりませんが、今回新たに男声合唱団をつくったというお話もお聞きしました。それと、特に合唱団として小さい合唱団の場合は、ジョイントコンサートは絶対やってほしい、という話が出ました。なかなか定期演奏会をもてない団にとって、こういうのは有難い、ということだったですね。

それと、合唱連盟に望むこと、ということになりますが、先ほどもいわれましたが暑い時期は非常にづらいんじゃないか、とか、場所がソフィアは歩く時間が非常に長い、ですとかいろんな意見があり、市民会館ができるのが楽しみといった意見も出ました。また、合唱祭に中学校の出演があってもいいのではないか、その合唱を聴きたいという話も出ました。それと高校生の合唱も聴きたい、ということで、それらも要望として出ていました。

以上がCグループの発表となります。

【Dグループ】

Dグループの発表をさせていただきます。

先に保険についてです。保険については内容を、どの段階で保険が効くのか、その辺の話について、もう少し具体的な中味が要るんじゃないか。その上での判断だと。ただ、全体としてはまあ皆さんがOKならついていこうか、と。あることにこしたことはないですから。そういう意見になりました。

次に話を戻しまして連盟に望むこと、ということですが、いちばん大きな話は、新しい団員をどうやって増やしていったらいいか、その話のなかで出てきたのが、例えば市の広報とか、地域的な広報誌、そういうものを連盟として使って何か広報できないか。その一つとして例えば合唱祭とか、交歓会とか載せてもらえば、注目していただけるのではないかと。そういう意見がございました。まあどこの団とも高齢化してきているので、とにかく新しい人を入れたい、という意見はありました。

だけでも結果としては知り合いを通して来てもらう、それから先ほどもありましたが来たらダマクラかしてでも居残ってもらおう、と。できるだけあの手この手使って、いいよ、という感じで、1日きたらこれ、次来たらこんなんやってくれるわ、とかね、定着するまではきっちり暖かく見守ってくれてる、というお話がありました。いずれにしても、そういう広報を通して先ず存在を改めて知ってもらう必要があるんじゃないかな、ということでもございました。その辺を、連盟としてもひとつ考えていただ

きたいな、ということですのでございます。あと、ホームページも、まあわれわれあんまりわからない人も多いので、見ている人は少ないな、ということです。あの、若い人、いろいろ見ていると思うので、更新をしていただけたらな、と思います。あと、見学者に来てもらって、できるだけ入ってもらうように、する。いろいろ言って、見学者にも参加してもらったら、一番増やしていくのにはいいんじゃないかと思います。あと、ちょっと参考に話していただいたんですが、合唱する人口は減り気味だと、だけでも童謡をやるチームは増えきみだ、ということもある。ただ、童謡に飽きた方が物足りなくなると合唱に来る、ということもあると、そういう話もしていただきました。

ジョイントコンサートですが、出られたところは出られたところで非常に有意義で、いろいろな交流もでき、いろいろな経験もできた、ということなんですが、逆に、出れないところは、団の中で、例えばパートバランスが悪いから、そのステージを責任もって演奏できるのか、とか、そういう意見もありました。まあ、それはそれでいいんじゃないか、という意見もありました。まあ、しかしみんなが出たことが良かったという意見もいろんな方から出していただいて、今後ともジョイントコンサートは続けていけたら、という意見は出ました。団によっては演奏会が毎年できる団もあれば、5年に1回とか、なかなかできないという団もあって、その中ではジョイントコンサートというのは有効である、ということでもございました。ですから今後も続けていただけたら、と思います。あと演奏会の取り組みに関しては、一部の人が請け負ってやるのではなしに、団の中でいろんな人に割り振って、いろんな仕事をやってもらうことで、全体として盛り上がり、いい演奏会になるのでは、という話もございました。

それと交歓会については、合唱祭に比べて、参加団体が少ないので、もう少し増やす方法はないか、という意見を求められたが、なかなかいい答えは出ませんでした。ただ、先ほど申し上げたように広報紙に載せることもひとつの手ではないか、ということです。

あと、これは合唱連盟としても以前出たという話ですが、合唱団どうしがお互いに交流する、練習を見学に行く、という意見が出たということですが、それについて連盟としてどのような取り組みをしているか、という話がありましたが、結果としてそれについての方向は出ていない、と。とりあえずは、少なくとも見に行き、ああこういうのをやっているんや、というのがわかれば、それはそれで参考になるのでは、とのことでもございました。

以上Dグループの発表とさせていただきます。

【Eグループ】

Eグループの発表をいたします。

まず、コンサート関係について話をしました。7月にありました合唱祭ですけれども、アンケートがありますが、あれを書くのがちょっと負担である、という意見が出ました。でもこれは、書くこと自体、ということよりも、対象の団に対して、あの正直厳しいことを書きにくい、遠慮がある、ということでもどう書いていいかわからない、ということでのアンケートを書くのが難しいという意見でありました。一方書いてもらうほうにすると、いろんなことが参考になるので、アンケート自体は有用である、ということにはなりました。例えば技術的なことはなかなかわからない、ということもありましたが、それについては単純に感想を書けばよいのではないかと、いうところがありました。それから、やっぱりソフィア堺は遠い、ということも出ました。雨の日は大変だったという話もありました。ではどうしたらよいのか、ということですが、例えばソフィアをやめて梅、という意見も出ましたけれども、堺市は広いので、一つに固定してしまうと、その場所に対して遠いという人も出てくる、と

ということで、例えば、毎年会場を変えれば、とか、今年は梅、次はソフィア、とかそういうことも、連盟のほうに考えていただければ、ということです。

次にコーラス交歓会ですけれども、グループの中で、合唱祭と交歓会の違いは何ですか、ということの質問が出ました。基本的にはそんな違いはない、と。もともと、年1回ある時期に、まあ交歓会が先らしいんですけれども、年1回ある時期に固定すると、団の事情でその時期に出にくい、という団があるということで、半年位空けたところにもう一つ出場の機会を持ってきた、というくらいのことであった、ということです。とはいえ、せつかく年に2回の機会があるので、何か特色を持たせたら、という意見がありました。で、一つは、発表者7分というのが非常に短い、という話が出まして、交歓会のほうは出場グループが少ないので、そちらのほうは融通が効くのではないかと、ということです。例えば、その年によって、1団ないし2団に特別にロング時間を与える、と。そこで何か長い演奏をする、ということも考えられるのではないかと。まあ、実際2団体が合体したら倍の時間をそこには与えたことが今まであったということで、そういうことが可能ではないかということ、あと歌以外にも何か、例えば寸劇みたいなことをしてもいいんじゃないかと、というロングバージョンタイムを与えることも考えてもいいのではないかと、という意見が出ました。

ジョイントコンサートですが、これも目的は何か、というのが出まして、一つは単独で演奏会が出来ない、という団のために、演奏の場を与えるということと、もう一つは、連盟の会計が非常に潤うということ。そういう理由、ということがわかりました。それとカクテルコンサートも含めまして、なかなか単独での演奏会を開けない団にとっての、出場機会、という意味で非常に有用である、と。ですから連盟のほうからは、そういう場がある、ということをどんどん各団にアピールしてほしい、ということです。

それから連盟に対する要望とか、各団の困っていることについてですけれども、やはりどのグループでも出ましたように、団員がなかなか集まらない、ということで非常に困っている。団員が集まらないことで、団費も集まらない。それによって、いろんな先生へのお支払いもしにくくなるし、演奏会もやりにくい。ということで、じゃあどうしたらいいの？ ということいろいろ話し合ったんですけれども、ひとつは、最近団員が増えているところがひとつありまして、「うた部」さんですが、もともとスタートが少ない人数から始めたそうですが、発表の場を例えば子供さんのピアノの発表会に出してもらうとか、そういうことをしているうちに、おかあさんが聴いて興味をもったとか、その子供さんも入ってくるとか、そういうことがあって、今徐々に団員が増えていますよ、ということで、そういうことも一つの方策になります。それから、どうして増やせばいいかということについて、今すでに合唱を経験されている方というのは大体の方は団に入ったりしているので、今まで合唱にかかわってこなかったとか経験がないとか、興味がなかった、という人たちに対して合唱の楽しさを伝えるべきだ、ということで、例えば連盟でやっている合唱祭以外に公共の場、例えば堺祭の場などで歌う機会をもらう、以前はあったらしいですが最近はないとのことなので。それとか、最近大きいショッピングセンターでミニコンサートなんかをやったり、というのを見かけますので、そういうところへちょっと出させてもらう、とか、そういう場を活用して普段合唱に触れていない人に知ってもらうということの努力、連盟のほうからも働きかけてもらって、していけばいいのでは、というのがありました。

最後に催事保険ですが、このグループはほかのグループの意見と違う意見が出まして、「はばたけ！ 堺」さんがかつて入っていた保険が、団員全員の名前が要らなかったり、掛け金も安い、というのが実際にあったそうです。で、あらかじめ出演者の名前とかの個人情報を出す必要もなく、とにかく一

括して払ってしまう、そして何かあったときにその、ケガをされた方のお名前なりを、その場で、あった場合だけ出せばよい、と、そういう保険がかつてあって、お入りになっている、とのことですので、そういう保険を、すぐにはわからなかったら調べていただいて後で連盟にお伝えいただく、それであれば皆さん困っていることも解決できるのではないかと、思います。

Eグループの発表は以上です。

【Fグループ】

Fグループの発表です。

まず4月の総会ですが、座り方が理事さんが前で、団の方が並んでいる状態で、団の人どうして名前とかがわかりにくいので、名札とかネームプレートがあればいいな、という話がありました。

次に、一言感想文アンケートなんですけれども、もらったほうはアドバイスもいただいて嬉しいし、参考にもなるので、もらうのは嬉しいんですが、書くのはやっぱりちょっと難しい。そういう中でアンケートの形式を、演奏面とか、パフォーマンス、衣装、とか項目別に何段階か、5段階とかにして○をつけていく、という形も考えてもらったかどうか、という意見もありました。そのあとに感想をちょっと書くような欄があったらいいんじゃないかと、と。それと各団3団体ずつ感想を書くように指定されているんですけれども、指定された団以外のところも、書きたいなあ、というところもありますので、そういう団にも自由に書けたら、いいな、という意見もありました。

次に交歓会の時期なんですけれども、寒いインフルエンザの時期、というのはいっしょなんですけど、いつも2月の末にありますので、3月の始めにレディースフェスティバルがありまして、出演が1週おいて今度はレディースということもあって、できれば2月の始めのほうにでも考えていただけないかな、というのが私たちの案です。

それと、梅の文化会館の演奏会のときに、出演を待っている団の方が玄関のロビーの椅子のところまでダーっと座っていると、聴きにきてくれたお客さんが、受付がわかりにくいとか、そういう意見もありましたので、出演団が控えるときの注意をしたほうがいいんじゃないかと、という意見がありました。

次にPRと募集なんですけれども、ホームページは。出来る方がいるところはあるみたいですが、できる人がいないところはちょっと難しい。やはり継続してメンテナンスが必要なもので、できるだけ活用はしていきたいな、という意見です。またPRについては、泉北コミュニティという新聞があるらしいんですけれども、泉北限定みたいなので。タダで載せてくれるからいいな、という意見です。堺市広報とかに載せてもらえたらいいな、という意見がありました。

ジョイントコンサートについても、人数の少ない団も出演できるように継続して行ってほしいなと思っております。ただ合同で練習するときには時間とか場所とか打ち合わせないといけないので、ちょっと難しいですね、という意見です。

最後に保険なんですけれども、個人情報とかもありますけれども、ほかの保険に入っている方も大勢いるとは思いますが、まあ100円くらいなら、入っていたほうが安心材料かな、という意見です。舞台上に立っていて、ライトを浴びて歌ったあとに、ちょっと暗くなったぐらいでも、やっぱり私たち、怖いので、足元がすごく不安になりますので、入っていたほうが安心かな、という意見です。

Fグループの発表は以上です。